

校長室より⑬

3年生を送る会（3月15日）



生徒会新役員の企画により、3年生を送る会が行われました。チームに分かれて「イントロクイズ」「ピンポンじゃんけんゲーム」等を行いました。頭も心も体も温まる時間になりました。3年生からは感謝の言葉や在校生へのエールもありました。

梅の木（生徒会）が 「仲間への感謝」の言葉で満開



卒業式（3/17）当日に 天龍中の桜が開花



卒業証書授与式（3月17日）



「春は出会いと別れの季節」

年度末の卒業式や離任式は、生徒も職員も仲間との寂しく辛い別れとなります。今まで一緒にいた仲間と交わした言葉や情景が素敵な思い出となって心の中に残っていくことでしょう。この素敵な思い出がエネルギーとなって、次の出会いへのステップとなっていきます。

卒業生も転任する先生方も、この天龍中での素敵な思い出をエネルギーにして新たな地で活躍してくれることと思います。

6名の卒業生は登龍門を通り立派に巣立っていきました

令和3年3月17日

天龍中学校長 塩澤孝仁

保護者の皆様へ



令和2年度卒業生の皆さん及び保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

1・2年生及び保護者の皆様、1年間の課程修了おめでとうございます。

天龍中学校職員一同、生徒のご家庭や地域と連携し、「ひとりになれる ひとつになれる」の重点目標の下で「確かな学力をつける」「地域に学び地域に貢献する生徒」を目指しワンチームとなって努めてまいりました。今年度1年間の保護者や地域の皆様に対しまして、本校の教育活動へのご理解ご支援に大変感謝申し上げます。

～卒業式での式辞・送辞・答辞より 一部抜粋～

式辞より

(前略)「ぶっぼうそう 羽ばたこう6人の雛たち」これが皆さんの学級目標でしたね。今日この日、9カ年の義務教育を終了し、それぞれの目標に向かって6羽の雛は、大空に飛び立つこととなります。卒業証書を受け取る皆さんの顔には、中学校の3年間も含め9年間の学びをやり遂げた充実感と達成感とともに、未来に向かって飛び立つエネルギーを感じることができました。このエネルギーをもって登龍門を通り、社会の荒波にぶつかっていくこととなります。(中略)

これから先の社会は、今回のコロナ禍から分かるように、先の見えない、予想がつかない社会となってきます。このような社会の中で生き抜いていくためには、自分と向き合い、多様な考えを持った仲間とともに、答えを導き出していく力が求められます。ときに悩んだり苦しんだり困難や壁に突き当たることと思います。そんな時はぎゅっと拳(こぶし)を握りしめ、決して相手に向けることなく、『拳は大空に突き上げて』『夢と希望を持ち』『常に笑顔』で生活していけるようにしたいものです。これが私から皆さんへのエールです。(後略)

送辞より

(前略)今年度はコロナ禍の中、皆さんが先頭に立って、生徒会スローガン「現状打破 ～力を合わせて活動をやり通す～」のもと、全校生徒を引っ張ってくださり、とても充実した1年になりました。有り難うございました。譲葉祭では、「Let's Have Fun ～みんなで楽しもう～」のテーマのもと、全校生徒が協力し合いながら準備を行い、譲葉祭当日、縮小した形ではありましたが、楽しみながら発表を行いました。(略)

このようなみなさんの姿から、私たちは多くのことを教わりました。今日この日を晴れ晴れしく思うと同時に、寂しさも感じます。これからは私たちが活動を引き継ぎます。天龍中学校で過ごした3年間で培った経験と、出会った人たちとの思い出を胸に、未来を切り開いてください。(後略)

答辞より

(前略)最高学年として過ごしたこの一年間は、全校生徒をリードしていく立場として、多くの困難を感じながら過ごした一年間でもありました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動や行事がなくなったり短縮したりしました。

そんな中開催した生徒会最大行事である譲葉祭では、一人ひとりの仕事が多く、くじけそうになったことがありました。しかし、互いに支え合って協力し合い、全校生徒が一丸となって取り組み、譲葉祭の成功につなげることができました。(略)

私たち3年生6人は、これからそれぞれ新たな道に向かって歩み始めます。その途中で大きな壁にぶつかるかもしれません、しかし、この3年間で培った団結力やあきらめない心があります。それらを自信として、自分らしく一歩ずつ歩み続けていきます。(後略)